

受付	令和 6年 2月 19日
	午前・午後 4時 30分

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月 19日

高山村議会議長 西原 澄夫 様

高山村議会議員 沖島 祥介

質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
1.命と暮らしを守るため 住宅耐震補強工事の促進について	<p>年初の能登半島地震において、犠牲者の9割が、家屋倒壊でお亡くなりになっています。倒壊した建物のほとんどが旧耐震時代の建物とのことでした。また、平成7年の阪神・淡路大震災でも死者数の9割が住宅や建築物の倒壊によるものでした。そこで、本村において旧耐震住宅（昭和56年以前の旧基準の建物）の早急な耐震診断と耐震補強工事を積極的に進めていかなければならないと思います。また、耐震改修に踏み込んでもらえるには、どのような相談体制が必要なのかについて質問します。</p>
	質 問 要 旨 と 質 問
	<p>令和3年3月に「高山村耐震改修促進計画」が策定されております。それによりますと、平成27年度の固定資産台帳によると、住宅総数 2,903棟のうち昭和56年以前の建築が 999棟あり平成18年度から住まいの安全「とうかい」防止事業を実施した結果、耐震診断を実施した住宅は 277戸（耐震診断率 27.7%）で、そのうち3戸で耐震改修（耐震化率 69.8%）を行ったとあります。県は耐震改修率を現在の90%の目標から、令和7年に92%を目指すとあります。そこで、以下の質問をいたします。</p> <p>①ブロック壁の耐震診断、工事实績は、今まで何件ぐらいありましたか？ また、現在、どれくらい倒壊の恐れのある塀があるか把握されていますか？</p> <p>②家屋について、その後、耐震診断を行った戸数、及び耐震改修を行った件数はどれ位ありましたか？結果、現状では耐震診断率、耐震化率は何%位でしょうか？また村では目標値をどれくらいに設定していますか？</p> <p>③診断無くして補強工事はありません。昭和56年以前の建物の耐震診断にかかる費用（64,000円）は当事者の費用は発生しないとお聞きします。そこで、費用はかからないという事をもっとPRし、DMなどで、耐震診断率100%を目指す位の取り組みを望みます。いかがでしょうか？</p> <p>④県では、耐震化促進に向けたアクションプログラム（市町村が策定する住宅の耐震化加速に向けた具体的な行動計画）を推奨していて現在37市町村が策定しています。須坂市、小布施町も策定しています。また県は早速、能登半島地震を受け、耐震改修補助を現行の100万円から150万円に引き上げると発表がありました。本村はまだ、未加入と思います。 早急に取り組むべきと思いますが、いかがでしょうか？</p> <p>⑤耐震改修にあたっては、それに合わせて、他のリフォーム工事も行おうと思います。県の補助制度として、「信州健康ゼロエネ住宅」のリフォーム工事で最大100万円の助成制度があります。また、県は耐震改修を行いやすくするため、低コストかつ簡易な工法を公表しております。税制面では、耐震改修工事をした場合、住宅耐震改修特別控除があり、また、固定資産税の翌年度の税額減額の制度もあります。いかに耐震改修をやってもらうかという事を念頭に置いて、耐震改修の相談に来られた方に、「ワンストップサービス」として、これらを総合的に相談に応えられる人材の育成及び窓口対応の体制づくりを望みますがいかがでしょうか？</p>

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。

質問事項	質問の趣旨
2.本村の森林を活かす取り組みについて	<p data-bbox="448 208 1487 353">本村の面積の85%をしめる森林について。間伐の促進、花粉を抑制する杉の植え替え、公民館改修にあたっての木材の利用、またバイオマスの利用促進についてなど、これから、森林を活かすことは必要不可欠な事柄だと思います。よって、以下の質問をします。</p> <p data-bbox="890 387 1099 421" style="text-align: center;">質問要旨と質問</p> <p data-bbox="448 432 1487 1025">           ①本村の森林環境譲与税の直近の金額はいくらでしょう？            また、森林環境税の基本的な考え方は、「市町村が主体となり、これまで森林所有者による手入れがなされてこなかった森林の管理を持続的に進めることに主に」とあります。本村の現状をお聞かせください。            ②クマスギは花粉が飛ばなく、また間伐しても、木の元から再び芽が出てくるとお聞きします。伐採後に、クマスギを植樹していく考えがありますか？            ③村民ホールの改修にあたって、木材の利用、ペレットストーブの設置を行いました。公民館改修にあたって、木材を積極的に採用する考えはありますか？また、ペレットストーブの活用などの考えはありますか？            ④補助制度がある薪ストーブ、ペレットストーブは年間どれ位の申請がありましたか？また、今後どのように利用促進を図る計画ですか？            ⑤今後の森林、林業活動に取り組む人材の育成、事業者の支援等の考えはありますか？            ⑥林業に付加価値を付ける木質バイオマスなどの導入の計画はありますか？また、今後の脱炭素社会の実現に向けて、またSDGSの考え方においても必要なひとつかと思えます。お考えをお聞かせください。         </p>
3.ワイン振興について	<p data-bbox="448 1104 1487 1216">現在、ワイン醸造所は6件あり、移住されたワインブドウ生産者も多くいらして、県内でも有数のワイン生産地になっております。そこで、村として、今後、どのように「高山村のワイン」産業を育てていくのかをお聞きします。</p> <p data-bbox="858 1249 1074 1283" style="text-align: center;">質問要旨と質問</p> <p data-bbox="448 1305 1487 1597">           ①令和5年度のワイン振興事業として苗木購入費、棚資材購入費の補助制度がありますが、今現在何件でどれくらい活用されましたか？            ②ワインブドウの用地が足りないと聞きますが、今後、村として圃場整備などは考えていませんか？            ③本村のパンフレットに「世界に認められるワイン産地を目指して」とありますが、ワインブドウ栽培面積、醸造所の数の目標値をどれくらいが適正と考えていますか？また、人材育成、経営支援など村として、どのような応援をしていくのか？お聞かせください。         </p>

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。